



消費者情報



カラビナ

発行日 令和4年3月3日
発行者 特定非営利活動法人
新潟県消費者協会
事務局 〒950-0994
新潟市中央区上所2丁目2番2号
新潟ユニゾンプラザ1階
TEL・FAX (025) 281-5558

E-mail n-shokyo@happytown.ocn.ne.jp URL <http://www.nsyokyo.org/>

森を守り、資源を生かす 持続可能な社会へ！



カール・ベックス邸に再生する前の古民家



再生されたカール・ベックス邸

～気になるスポット～ カール・ベックス氏の古民家再生 (p8)

目次

- 令和3年度 新潟県消費者協会 事業報告 2 P
- <速報>新潟県高齢者のインターネット利用の現状アンケート調査
高齢者のインターネット支援を取材！ 3 P
- 地区だより「ウイルス禍での活動の工夫と今後実施したい活動」 4・5 P
- NPO 法人消費生活ネットワーク新潟が「適格消費者団体」に認定されました 6 P
作ってみませんか「キャベツの梅酒煮」
- 「フレイル」って？ その2 7 P
「成年年齢引き下げ」に伴うトラブルを回避しよう
- 気になるスポット「カール・ベックス氏の古民家再生」 8 P

●カラビナとは 登山に使われる金属製の輪です。カラビナがロープをしっかり繋ぎ、支えるように、この消費者情報が必要な情報を消費者に、消費者の声を事業者・行政に繋ぐ役目を果たすようにと名付けました。

令和3年度 新潟県消費者協会 事業報告

■ 中越地区講演会 「感染症の基礎知識と対策」

講師 菅蒲川 由郷 氏 新潟大学大学院医歯学総合研究科
十日町いきいきエイジング講座特任教授

日時 10月25日 13時～15時

会場 南魚沼市ふれ愛支援センター

参加 55人（オンライン参加 36人含む）

未だ収束が見えない感染症について、人類と感染症の歴史から、新型コロナウイルスの基礎的知識を紐解きながら、ウイルス変異発生のしくみや、最新の予防対策について詳しく解説をしていただきました。

1万分の1ミリの病原体が人類を脅かすコロナ時代を生きていくためには、変化に対応できる柔軟性と創造力を持つことが大切であると話されました。

また、県内における地区講演会では初めてのオンライン開催となりました。講師はオンラインで登壇し、参加者は会場とオンライン両方で視聴しました。音声や動画もクリアで参加者からも大変好評でした。今回を機に感染予防のひとつの方策として、また遠方の方からも参加できる講演会など増やしていければと思っています。



オンラインで登壇した菅蒲川先生と会場の様子

■ クリーニング懇談会 「お洗濯のプロに学ぶ！衣類のお手入れとクリーニング」



シミ抜き実演の様子

講師 大越 幸一 氏 新潟県クリーニング生活衛生同業組合理事
日時 12月16日 13時30分～15時30分

会場 葛塚コミュニティセンター研修室 A 参加 23人

懇談会では汚れが落ちる条件に、水温や洗剤量の適温、適量があること、汚れの種類によって選ぶ洗剤を変えることや、洗剤自体の形状（液体や粉末など）の違いでどれが一番汚れ落ちが良いのかなど実演を交えてのお話でした。

参加者からは目からウロコの洗濯技術に感嘆する場面もありました。また、普段の洗濯の悩みを解決できるヒントをもらえました。参加者へは豊栄支部会員手作りのエコたわしなど、エシカル消費を意識したお土産もあり好評でした。

■ 金融経済講演会 「私たちの意思表示が未来を変える～エシカルという新しいものさし～」

講師 堀田 三佳 氏 一般社団法人エシカル協会事務局次長

日時 12月22日 13時30分～15時30分

会場 新潟ユニゾンプラザ 参加 57人（オンライン参加 22人含む）

安さや利便性を求めた消費がもたらしている発展途上国での労働の実態やパーム油生産の現状など、写真や動画を用いたお話は臨場感あふれるものでした。

自分たち一人ひとりの行動や選択が、地域や社会・地球環境へつながっていることを改めて気づかせてくれました。未来を変えるためには、今からエシカル消費を実践する必要性を感じました。



堀田先生への質問の様子

■ 令和3年度 消費生活サポーター養成講座

日時 8月24・31日、9月7・14・21・28日 10時～15時30分

会場 小出郷福祉センター

受講者 27人 修了者 26人 サポーター登録者 25人（予定）

今年度は、魚沼市、南魚沼市、十日町市、新潟市からの登録がありました。感染予防や遠方での受講、補講対応のため、講座を録画し、オンデマンド配信やDVD貸出をして、受講できる機会を増やしました。



グループワークの様子

お知らせ

令和4年度
通常総会・記念講演会ご案内

日時 令和4年5月17日（火）
会場 新潟ユニゾンプラザ 4F 大研修室

※ウイルス感染症の状況等により変更する場合があります。

新型コロナの流行により、インターネットの活用推進がさらに加速しています。ワクチン接種の予約などの手続きや行政からの情報提供にも活用され、消費者協会の活動のなかでも、連絡や情報交換の手法としてインターネットが必要になっています。今後、うまくインターネットを活用し活動の充実や生活を豊かにしていただくためには、何に取り組んでいけばいいのでしょうか？

今回、まずは現況を知るために、公益社団法人 NACS東日本支部新潟分科会と協働で会員の方々にご協力いただき利用状況や意識等のアンケート調査をおこないました。集計結果を速報します。(最終的な調査報告は、3月末に作成予定です)



まとめ

全体の4割はインターネットを利用していないが、7割は今後利用が増えると考えている。利用促進には、「操作を簡単に」「使い方を教えてくれる場所」「いつでも聞ける相談窓口」が身近にあることが望まれている。

<調査概要>

調査対象 新潟県内60歳以上の男女514人
有効調査数511人(99.4%) 男性243人女性268人
調査期間 令和3年9～10月

■ 利用状況

「利用していない」は全体の約4割
年代が上がるにつれ割合が増える



■ 利用していない理由

- 第1位 自分の生活に必要な
- 第2位 使い方が難しそう
- 第3位 今更新しいことを覚える気にならない

■ 今後利用するかもしれない人の条件は？

- 第1位 使い方を教えてくれるなら
- 第2位 インターネットの必要性を感じたから
- 第3位 機器や利用料金が安価なら

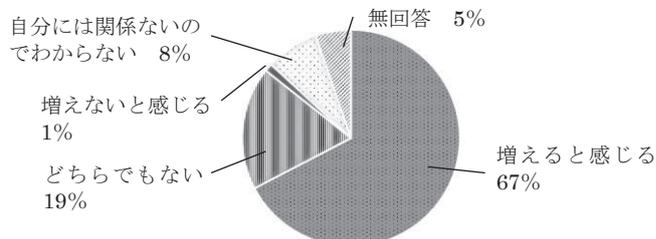
■ 利用している人 使用している機能

- 第1位 情報検索
- 第2位 電子メール
- 第3位 LINE やフェイスブックなどのSNS

■ 利用に関して行政や事業者への要望

- 第1位 もっと簡単な操作で使えるようにしてほしい
- 第2位 何回でも教えてくれる相談窓口を作って欲しい
- 第3位 行政手続きの簡便な利用方法など
実生活に必要なことを教えてほしい

■ インターネットを使う機会が今後増えると感じるか？



高齢者のインターネット支援取材！

長岡工業高等専門学校が起業
高齢者のインターネット活用を支援！

「株式会社 雷神」は、代表の細木真歩さんが新型コロナにより独居老人の孤独や交流不足が深刻化していると感じたことから仲間と起業し高齢者のインターネット支援を行っています。

今回見学させていただいたのは、レンタルスペースで開催した「LINE 操作講座」。メッセージや写真の送り方、友達登録の方法などの基本的な使い方や、参加者がわからないところを講師に何度も聞くことができるので、よく理解することができます。参加者はリピーターも多く、談笑しながら楽しそうに講座を受けていたのが印象的でした。1年ほど通っている参加者は、「教わったことを家でやると忘れてしまうが、次の時に聞くことができるのが良い」と話していました。この講座は、国の補助金事業のため無料でしたが、有料で個人への訪問支援(30分1500円)、LINEや電話などでの相談対応、企業などへの出張指導等もおこなっています。

身近な場所で何度も通え、わからないことを何度も聞くことができる場所が、特に高齢者や初心者にとって必要とされています。各地にこのような場所ができるとインターネット活用がより進むのではないのでしょうか。



参加者の話を聞く細木代表

株式会社 雷神(らいじん)

(長岡市大手通2-2-6ながおか市民センター地下1階)
TEL 050-6878-7751

地区だより

- ウイルス禍2年目となり、2回目のワクチン接種後（9月頃）から
- 感染状況が落ち着き、活動を再開することができるようになりました
- た。ウイルスに必要以上に恐れることなく工夫した活動や、考えてお
- られること等について伺いました。（編集委員 山本ヒサ）

ウイルス禍での活動の工夫と今後実施したい活動

◇来年度に向けて！

柏崎市消費者協会
市の事務局のご支援により中越地区講演会をオンラインで視聴することができました。会員17名が参加しました。施設が休館になり延期した「マイクロプラスチック」の講演会を来年度早期に実施し、持続可能な地球環境の回復のため活動を継続したいと思っています。



◇集うことの喜び

小千谷市消費者協会
昨年度計画していた「株式会社バイオマズレジン南魚沼」への視察研修を10月28日に実施しました。県内で「脱プラ」の製造、販売及び研究開発をしていることに驚きと誇りを感じました。美味しい昼食もとり心豊かな一日でした。来年は40周年記念年として活動します。



◇ウイルス禍での活動 南魚沼市消費者協会

視察研修、料理教室は消化不良。マスク、消毒、手洗い、密の回避等感染予防対策を徹底し、一般の方達と共に牛乳パックの椅子作り、EM石けん作り、米袋のバッグ作りを和気あいあいと取組みましたが、現時点では会員増加に至っていません。



◇中止覚悟、いたずらに怯まずに

長岡市消費者協会
ゴミの学習は、スーパーのリサイクル回収容器等調査・回収容器の処理施設見学・長岡市のゴミ回収について伺いとめる。市内の名所等を研修視察、中古衣料チャリティ即売会、防災食の講話と調理他。感染予防対策を熟考して前向きに活動していきたい。



◇これからの活動 魚沼市消費者協会

今年度は当初の活動計画をほぼ実施することができました。市民参加「得だね講座」も感染予防を徹底し参加人数を減らして実施しました。今後の課題や希望として、オンラインやビデオ等を活用し多くの人に発信できる技術と機器充実の必要性を感じました。



◇消費者力アップ講座を終えて

見附市消費者協会
マスク着用・消毒・換気等感染予防対策をして、会員のみ対象とした「消費者力アップ講座」を2年振りに実施しました。1回目は食用油の品質テスト、2回目は昨年新設された見附市浄水場を見学しました。久しぶりに外に出るの活動ができて良かったです。



◇令和3年度活動報告 十日町市消費者協会

ミツバチの巣からとれる「みつろう」を使い、安全・安心な「みつろうラップ」づくりに挑戦しました。市の行事でそれを配布したところ、3名の協会加入につながりました。小さなことでもあきらめずに活動しつづける大切さを見いだすことができました。



◇ウイルス禍での活動 三条市栄消費者協会

9月に計画した市外視察（魚沼方面）が、ウイルス禍のため11月に延期しました。20名の参加があり、3密を避けるため2台のバスに分乗して実施しました。2月には、広い会場を使い感染予防対策を行った上で、学習会を実施する予定です。



◇ウイルス禍での活動の工夫

五泉市消費者協会

例年おこなっている夏の市外視察研修ができなかったため、秋に市内視察研修を実施しました。開館したばかりの交流拠点複合施設「ラポルテ五泉」や五泉ニット複合施設「LOOP&LOOP」での、久しぶりの講義や視察で会員に笑顔が見られました。



◇活性化には外部の視点も

新潟市消費者協会新潟支部

『今まで通り』では、時代と社会に通用しない。このことに気付かない組織は、かなり老化現象が進んでいる。外部の視点で見直し、改善、改革できない組織は消えるしかない」と肝に銘じて活動してきたが、道は遠い。さて、ポストコロナの消費者協会はどこへ？



◇定例会再開

新潟市消費者協会新津支部

ウイルス禍 2 年目となりウイルスの特徴も把握でき、毎月の定例会を再開できた事は最も収穫でした。会員の少ない弱点は少数精鋭の利点となる事も再認識しました。地域に根差した活動をウイズコロナで会員一同模索しつづける所存です。



◇ウイルス禍での活動

新潟市消費者協会巻支部

今年もウイルス禍のため、軒並みイベントが中止となりましたが、EM 石けんづくり、健康増進講座、食品ロス講座、エシカル講座と 3 回の講座を実施することができました。広い会場を使い、感染症



予防対策もしっかりしました。来年こそはイベントに参加して消費者協会の PR をしたいです。

◇ウイルス禍で実施した島内視察研修

佐渡市消費者協会

今年度も観光バス 2 台で 48 名が参加し、2 種類の昆布を養殖している佐渡海洋深層水水産施設⇒微生物活性液栽培のゴーヤのハウス⇒米粉やリンゴジュースを製造する工場を見学。改めて「地産地消」を心がけることが大切だと思った有意義な一日でした。



◇活動で工夫したこと

新潟市消費者協会白根支部

白根神社のボランティア清掃、外部からの講師は避け少人数で「エシカル消費」学習会を開催。他団体の主催行事「福祉・介護の関わり講座」に協力し、会員以外にも周知するなど工夫しました。新年会は弁当持ち帰りで感染症予防対策をしっかりとっておこなって開催します。



◇ウイルス禍で実施するに際して工夫したこと

新潟市消費者協会豊栄支部

11 月地域の公民館まつりに参加しました。歌や踊りの発表もなく展示物のみの開催でした。食品ロス・エシカル消費・振り込め詐欺防止等の資料をボードに展示、情報発信、会員募集をしました。来年はいつものような開催ができれば嬉しいです。



◇ウイズコロナを生きる

新発田市消費者協会

社会の変化に伴い、生活スタイルにも変化が生じています。このような時だからこそ、思考停止にならないためにコミュニケーションが重要であり、工夫し模索しながら、高齢者の見守りの一助として、被害防止の啓発活動を行っています。



◇半年ぶりの活動、うれしい笑顔の再開

村上市消費者協会

10 月「生活にさわやかさと安心を」をテーマにアロマ涼感スプレーとファイルマスクケース作り。11 月 EM プリン石けんと米のとぎ汁発酵液粉石けんで生活万能石けん作り、学習会「食品ロス削減とフードバンクについて」を初 Zoom 視聴。できることから実施中。



NPO 法人消費生活ネットワーク新潟が 「適格消費者団体」に認定されました



当法人は、令和3年10月20日内閣総理大臣より「適格消費者団体」に認定されました。適格消費者団体に認定されたことで、さらに差止請求訴訟を提起することができるようになりました。

12月5日には埼玉消費者被害をなくす会の池本誠司理事長による認定記念講演会が開催されました。適格消費者団体は情報提供された「おかしい」と感じる契約や広告に法的な問題があれば、事業者と契約条項や勧誘方法・広告の改善を協議し、改善されないときは消費者に代わり差止請求の裁判が提起できるため、改善の申出をすると9割は改善されています。

この地域に根差した活動が消費者被害防止、消費者・消費者団体の活性化、地元の消費者行政の充実に繋がることのお話でした。

当日は団体の一員として長谷川かよ子前理事長(元県協会会長)や本多県協会会長もこれまでの経緯や今後の活動方針を報告されました。自分の他にも多くの方が「おかしい」と思いながら、同じ契約をしているかも知れません。私たちにできることは、「これって、おかしくない?」と思う契約や広告を見つけたら、消費生活ネットワーク新潟へ情報提供することです。

(特定非営利活動法人消費生活ネットワーク新潟理事 高杉陽子)



講演会の様子



作ってみませんか

キャベツの梅酒煮

一年中手に入るキャベツは、決まったメニューになりがちです。

今回は、梅酒をいれたサッパリ味の煮物を紹介します。一味違ったさわやかな口当たりになります。

＜材料＞

キャベツ 半分 鶏もも肉 1枚
しょうゆ 大さじ4 梅酒 200cc

※梅酒は、お好みの味を選んでください。

＜作り方＞

- 1 キャベツはざく切りにし、鶏肉は一口大に切る。
- 2 鍋に材料、調味料を全部入れ、火をつける。
- 3 キャベツがしんなりしてきたら、火を止め、しばらく置いておき、味をふくませる。
- 4 再度火をつけ、汁気がなくなるまで煮る。



(編集委員 藤田純子)



理想の住まいと出会うために、
不動産広告はしっかりと
確認しましょう。



公益社団法人 首都圏不動産公正取引協議会
TEL:03-3261-3811 <http://www.sfkoutori.or.jp>

不動産公取協 検索

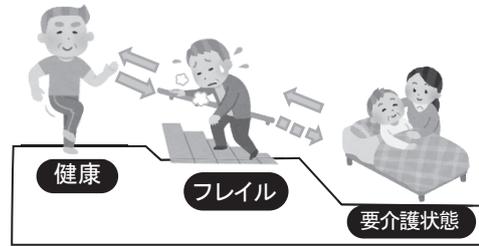
編集後記

今号を最後に、カラビナ編集委員を退任することになりました。年2回だけの編集でしたが、皆様には大変お世話になり感謝です。様々な場所に行って取材し、それを文字に起こしていく作業は大変でしたが、半面、完成させた喜びも感じました。カラビナは新潟県消費者協会の活動を紹介しています。新型コロナウイルス感染症の広がりの中でも創意、工夫をしながら活動している会員がいることを多くの方々に知っていただくことを願っています。

(編集委員 藤田純子)

『フレイル』って？ その2

皆さん、「フレイル」という言葉を最近よく耳にしませんか？
163号からの続きです。



フレイルは、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味します。年のせいと諦めていた体や心の衰えは予防できます。令和2年4月から、75歳以上が受ける後期高齢者健診に、フレイルの状態になっているかチェックする「後期高齢者の質問票」が追加されました。

前号でお知らせした予防対策3つについて説明します。

1 栄養面（食事の改善）

まずはバランスのとれた3食。体重1kgあたり1gの筋肉の元となるたんぱく質の摂取が理想。口腔ケアも大事。

2 身体面（体操や運動）

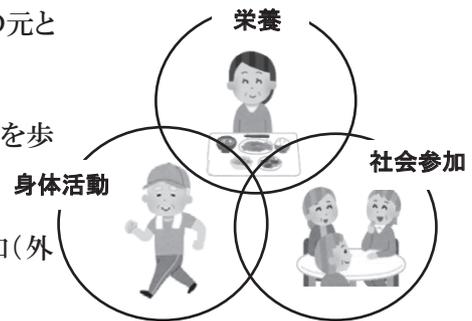
食欲や心の健康にもつながるので大事。1日5,000歩以上を歩くようにすると、筋力の低下を防げる説もあり。

3 社会面（人とのつながり）

地域の集まり、趣味など自分にあった活動に積極的に参加（外出）して、活力に満ちた日々を送る。

参考：厚生労働省「高齢者の保健事業について」

たくさん食べて、出かけて
笑いましょう！



◆◆「成年年齢引き下げ」に伴うトラブルを回避しよう◆◆

民法改正により、令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられます（18歳、19歳の方は、4月1日時点で新成人となります）。新成人が悪質な事業者につけ込まれ消費者トラブルにあう懸念があり、消費者庁や国民生活センターでは注意を呼びかけています。

成人になると契約が取り消せません！

未成年が、契約をするときに保護者の同意を得ずに契約した場合には、民法で「未成年者取消権」が定められているので、契約を取り消すことができます。大人になると「未成年者取消権」がなくなり、契約を取り消すことができなくなります。

若者に多い こんなトラブルに注意

20歳代の若者で特にトラブルが多いのが、「もうけ話」と「美容医療」に関することです。20歳代の消費生活相談では、右のトラブルが激増しています。

（2015年⇒2020年の比較）

引用：厚生労働省「若者のトラブルの状況 一部抜粋」

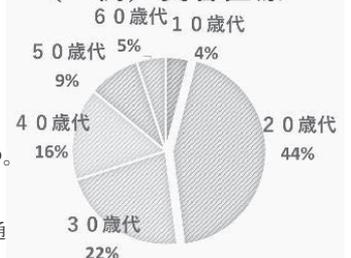
- ◆美容医療 749件⇒919件 1.2倍
- ◆情報商材 296件⇒2886件 9.8倍
情報商材とは主にインターネットなどを介して売買される情報のことで、情報の内容自体が商品となるもの。
- ◆暗号資産 71件⇒678件 9.5倍
暗号資産とは仮想通貨のことで、インターネットを通じて電子データでのみ、やり取りされる通貨のこと。

成年年齢の引き下げで 変わるもの・変わらないもの

変わるもの(例) 18歳になってできること	変わらないもの(例) 20歳になってできること
<ul style="list-style-type: none"> ●親の同意がなくても契約ができる (携帯電話の契約、アパートを借りる、ローンを組む、クレジットカードを作るなど) ●10年有効のパスポートの取得 ●公認会計士や司法書士などの国家資格に基づく職業に就くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ●飲酒や喫煙 ●競馬、競輪、競艇、オートレースの投票券等を買う ●養子を迎える



(一例) 美容医療



契約する前に注意すること、それは今すぐ必要なもの？

- 1 「簡単に儲かる」など、うまい話に注意！
- 2 契約前によく考えて、家族に相談！
- 3 契約内容、解約・返品の内容をしっかりと確認！
- 4 あやしいと思ったら、きっぱり断ろう！

本人・保護者の方へ

- ・契約などのルールについて、家族で確認し、知識を身につけておこう！
- ・困った時の相談窓口も確認！

消費者ホットライン 188 に連絡

(編集委員 押見敏昭)

気になる スポット

スローライフに癒される！

カール・ベンクス氏の古民家再生

注目の町並み再生・集落の存続について学ぶ！

商店街活性化プロジェクトが進められています。松代ほくほく通り商店街の景観再生事業は古民家カフェ「澁い」を始め、ゲストハウスや商店街の店舗・民家も含め再生に取り組中です。建築家カール・ベンクスさんの描く設計図から明るく、美しい街並みへ変わろうとしています。一方、松代駅から車で15分ほどに竹所集落があります。カラフルな色とりどりに再生された古民家が現れます。住宅は杉の木に囲まれ、鳥のさえずりを聞き、四季を感じ、ぬくもりのある家で人々は暮らしています。集落には移住者が増えているそうです。

壊される古民家がカフェとして生きる

「カールベンクス古民家カフェ」

いま話題のその店は十日町市松代の商店街にあります。かつては宿場町として栄え、もともと壊す予定であった老舗旅館(明治38年築)を改築し、古民家カフェとして蘇らせました。「澁い」というお店の名前は彼の好きな言葉。伝統建築の持つ謙虚さ、静けさ、調和を表し、その建物に相応しいものとなっています。

アドレス等

新潟県十日町市松代 2074-1

Tel : 025-594-7944 HP : <https://karl-bengs.jp>

営業は木曜日～日曜日・祝日 11:00～16:00



取材させていただいたカフェは、貴重な、けやきの柱や梁を活かし、匠の技が重厚で落ち着いた雰囲気をつくりだしています。

経済発展の中で、スクラップ&ビルドが繰り返される一方、山村の衰退や森林の減少が起きています。再生に取り組む松代を訪問しました。



左側2人目が
カール・ベンクス氏

Karl Bengs Profile

1942年ドイツ・ベルリン生まれ。父親の影響で日本に興味を持ち、1966年空手を学ぶため日本へ。建築デザイナーとして活躍中、建築材を求め訪れた竹所で古民家に巡り合い、日本建築の技術や美しさを活かしつつ次々と古民家を再生しています。松代の自然を愛し、竹所集落にある古民家を改築し30年間ご夫婦で暮らしています。



イエローハウス



シエアハウス

第二の故郷は「静かでも寂しくない村」

カール・ベンクスさんの探し物は古くとも木のぬくもりのある“ふるさとの家”にあったそうです。それは古くから山から切り出した大木を使い、職人さんの手で建造され、私たちの憩いの住まいとなってきたのです。しかし、時代とともに価値観や生活スタイルが変化し、山間地の過疎化が急激に進み古民家も置き去りとなりました。今、カール・ベンクスさんとそのスタッフによって村がよみがえろうとしています。

☆取材メモ☆

今回、ご多忙中にもかかわらず、カール・ベンクスさんにお会いできたことは幸せでした。彼の取り組みは日本人自身でさえ、なし得ない大きな成果であると思います。国の森林資源は貴重です。それら資源を活かして巧みに築く、建築技術者も育てなければなりません。私たちには守るべき大切なものが沢山あり、それらをなくさぬ様にしたいものです。そのことを今になって改めて、教えていただいた取材となりました。

編集委員 押見敏昭 小林 諒 藤田純子